

## 養殖アカモクの水揚げが最盛期を迎えました

養殖アカモクの水揚げが、宮津市養老地先、舞鶴湾湾口部で2月7日から始まりました。両地区ともアカモクの生育および生残は順調で、収穫量は過去最大であった昨年の7.5トンを大幅に上回る15～20トンに達する見込みです。なお、収穫作業は3月中旬頃の終了を予定しています。

当センターでは、来年度のアカモク養殖に向けて、成熟したアカモク母藻から種（幼胚）を採取する作業を2月初旬に実施し、約550万個（約5.5万個の種苗が生産可能）の種を確保しました。種は、種苗生産を開始する7月頃まで当センターの冷蔵室で大切に保管します。



ドローンによるアカモク養殖施設  
の空撮画像（2月4日；宮津市）



アカモクの種（倍率20倍）